

2022年10月号 Vol. 73 (2022年10月1日発行)

せんしゆん



ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



ちようちくきよ
聴竹居 (重要文化財・日本近代建築20選) 大山崎町

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

心ひとつに、地域に貢献を



介護部 統括マネージャー 入谷 卓也

新型コロナウイルスの対応が始まってから、3年を迎えましたが、未だ医療、介護の現場の負担は大きく、通常のサービスを継続しながらの感染対応が続いており、一日も早い感染の終息を願って、業務にあたっております。

この4月より、介護部 統括マネージャーを拝命し、約半年が経過しましたが、重責に応えられるよう、日々研鑽に務めております。

さて、私は2001年3月16日に千春会に入職いたしました。当時の千春会は1997年に菊地理事長が就任され、新体制構築に向かったの途中でした。設備では、病院の老朽化が進んでおり、十分な人材も揃っていません。また、経営的にも非常に厳しかったと思います。

そのような時、理事長と一緒に病院の屋上に上がり、長岡京市の街並みを見ながら、乙訓の地域に根差した法人を目指すという理事長の「想い」を聞くことができましたが、法人がおかれている現状から考えますと「到底実現できるわけがない」と思ったのが当時の正直な気持ちでした。

しかし、その後、理事長のリーダーシップの下、全職員がベクトルをひとつに合わせて、2005年の病院の増改築をはじめ、地域のニーズに応じていくために、様々な医療・介護サービスの事業展開を行い、今ではグループ全体で25ヶ所（40事業）の事業所が運営されています。

私自身も、デイサービスや介護複合施設の立ち上げを経て、2021年には府下でも大規模な「介護老人保健施設 春風」や保育園と高齢者施設の合築施設である「保育・高齢複合施設 西山天王山」、大阪府吹田市では訪問診療

専門の「千春会たなのファミリークリニック」のマネージャーを務めさせていただいております。目まぐるしいほどの法人の成長と共に、自分自身も得難い人生経験を積ませていただけたと感謝しております。

近年の新型コロナウイルスの蔓延により、介護事業所でも、コロナへの対応が迫られました。

法人では、現在、3つの「介護老人保健施設」を運営していますが、これら全ての老健で新型コロナウイルス感染者に対して、千春会病院と連携を取りながら、点滴や酸素、コロナウイルスの治療薬（ラゲブリオ）投与、中和抗体薬（ゼビュディ）の点滴投与等を行いました。また、地域の要介護者の方が感染し、自宅での療養が困難な方なども緊急で受け入れるといった対応も行いました。もちろん感染者の方への対応は、千春会病院との連絡をとりわけ密に行っていますが、以前から法人は「医療と介護の融合」を掲げて取り組んで来ており、介護施設と病院の関係性はシームレスで、医局、看護部、薬剤部などの各部署や多職種との距離が近く、困った時には気軽に連絡や相談ができ、また、状況によっては施設に駆け付けてもらえる体制が整っていたことで、よりスムーズな対応が可能となりました。

これからも千春会は、地域の皆さまのニーズにお応えすべく、幅広い事業展開を予定しています。入職時に菊地理事長からお聞きした「地域に根差した法人を目指す」という「想い」を忘れず、職員が一丸となって、地域の方に良質なサービスが提供できるように、私も誠心誠意、努力して参りたいと存じます。

千春会病院に清浄度最高クラスの手術室完成！

バイオクリーン手術室（クラス100）にて手術開始



手術室サブライ

9月に、千春会病院に空気清浄度最高クラス100のバイオクリーン手術室が新設され、充実した環境下での人工股関節手術が実施されました。股関節再建センター長の藤田 裕先生が執刀され、スムーズな手術となりました。

長年、股関節の痛みでお悩みの方は多く、現在、すでに「股関節再建」の手術は、来年1月まで予約が入っており、今後も多くの手術が予定されています。



バイオクリーン手術室

今回、新設した手術室は、人工関節手術や心臓手術などの際に使用されるもので、微粒子や細菌を飛散させない手術室となっており、手術時の細菌感染防止に大いに役立つものです。

また、手術時の様子を映し出す大画面のモニターをはじめ、手元を拡大した画像が術者の眼前にも映し出され、さらに別室で手術の様子を確認することができます。

清潔な環境を準備した手術室として、さらに高度な医療を提供できる環境を整え、地域の皆さまに貢献してまいります。

股関節専門外来では、これまでに手術をされた方で状態が悪い方などのご相談もできます。人工股関節についてのお問い合わせは、お気軽に千春会病院までご連絡ください。

千春会病院：担当(川原)
075-954-2175 (代表)

ご報告

医療機能評価 3rdG : Ver3.0 認定審査受審

千春会では、より良質な医療を提供すべく、医療の質を高めるツールとして、2007年より「日本医療機能評価」を受審・更新し、第三者機関による評価を積極的に受けることで、法人全体で、さらなる質向上に努めております。

今回は、特に3rdG : Ver3.0への評価内容の変更での受審となり、2日間にわたり、サーベヤーの訪問審査と評価がなされました。

大規模病院では概ねこの評価を受審されていますが、当院のように60床規模での受審は数少ないのですが、日々の運営や医療サービスの提供について、この医療機能評価を通じて、真摯に質の向上に取り組んでおります。4度目の更新受審となる今回も、職員一丸となって、医療の質向上を目指した取り組みについて、サーベヤーからは「他の模範となる病院です。」といった総評もいただき、身の引き締まる思いです。

これからもさらに地域社会に貢献できるよう、取り組んでまいります。



理事長、院長はじめ、サーベヤーの説明を受ける担当責任者



サーベヤーの巡視とヒアリングを受ける病棟スタッフ

医療機能評価とは

病院を対象に、医療評価機構が評価項目を用いて、国民が安全で安心な医療が受けられるよう、組織全体の運営管理及び提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うツールです。病院機能評価により、一定の水準を満たした病院は「認定病院」となります。認定病院は、地域に根差し、安全、安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力していると言えます。

－(公財)日本医療機能評価機構 ホームページより－

日本救急医学会認定 ICLS 取得コースを 千春会病院にて開講しました！

ICLS という蘇生のためのトレーニングコースを千春会病院にて初めて開講しました。受講資格は、医師、看護師、セラピスト、介護職員、事務職など幅広い職種となっており、蘇生学習コースでは修了後に日本救急医学会より「コース認定」がなされます。

病棟、外来、訪問、介護施設、事務室、さらにはいつもの生活の中で、救急対応を余儀なくされることがあります。この講習では、遭遇した時に、慌てず、騒がず、適切な行動と処置が行えるよう、蘇生のための実践的レクチャーを行います。

今回の参加者は、Ns、セラピスト、放射線技師、介護職員はじめ乙訓消防からは救急隊員の方も参加されました。

まず、スライドで、海外レスキュー隊による実際の蘇生映像から、初動の大切さを再確認。続いて、小グループに分かれて、BLS(1次救命処置)を全員ができるまで実施しました。Nsは経験もあり、さすがに落ち着いた様子ですが、それでもレベルに応じて注意点が指摘されます。放射線技師や介護職員は、ほとんど経験がないため、講師陣は動画を撮影して指導。参加者は、自分の動画を見ながら講師陣からの指導を受けるため、大変わかりやすく、救命処置をしっかりと理解することができたとのことでした。さらに、人形を使用しての挿管やAED操作をできるまで交替で行います。

実際の現場を想定したシナリオに従って、声や反応が確認できる高性能ボディを使っでの蘇生チームでの対応学習は大変な臨場感がありました。やはり、現場経験の多い、救急隊員の方の無駄のない指示や動きは素晴らしく、それぞれの職種のあり方が双方向に参考になる場面もありました。朝から夕方まで、一日中、実践的なシミュレーション実習を繰り返しますので、「蘇生現場におけるチーム医療」を身につけることができた貴重な講習会となりました。

ICLS (Immediate Cardiac Life Support) とは

医療従事者のための蘇生トレーニングコース。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としている。

(日本救急医学会 ホームページより)



受講証を手に多職種の参加者



実践的シミュレーション実習に取り組む受講者たち

コロナ禍だからこそその 次世代育成を

免許、資格取得、卒業関連実習・研修受け入れ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、公認心理士、医事業務、教員免許実習、支援学校就業予定実習など



千春会グループでは、病院はじめ介護事業所で、多くの実習生、研修生を受け入れています。毎年、千春会病院では医局、看護部、リハビリ科、栄養科、医事課などの各部署並びに介護事業所でも多数の実習生を年間通じて受け入れています。



管理栄養士の指導を受ける実習生(左)

コロナ禍で、実習先が見つけれないという学校側や学生さんの声もあり、できる限り受け入れできるように調整しています。

今年は、龍谷大学からの公認心理士学外実習として、毎週1回の実習も始まりました。

大学や専門学校など8月、9月だけでも医療系は30名超の学生さんが実習に来られました。感染予防に努め、抗原検査などコロナの院内侵入防止をはかりつつ、次世代育成に出来る限り協力しています。



セラピストの指導で関わる実習生

コロナ禍でも できる限り

コロナ禍だからこそ 敬老の日プレゼント 声と歌と作品

かわいい園児さん、がんばりました！

保育・高齢複合施設 友岡 きらら保育園
(社会福祉法人 和楽会)

千春会グループの社会福祉法人和楽会「保育・高齢複合施設 友岡」は、高齢者と保育園児が自然に触れ合える複合施設です。

敬老の日ということで「おじいちゃん、おばあちゃん、これからも元気で過ごしてくださいね！」と、かわいらしい声が全館放送で流れました。きらら保育園の園児さんが元気な声で、特別養護老人ホームに入所されている高齢者の方々に向け、声のプレゼントをお届けです。



きのこ、ぶどう、クリを
子ども達が手作り

今は、コロナ禍で対面することができなくなりましたが、何とか高齢者の方々に敬老の日のプレゼントをと、季節の飾りを一生懸命作成して先生に各階へ届けられました。さらに敬老の日として、施設内の放送機器を使って、可愛らしい「声のプレゼント」を送りました。全館に響く園児さんの声、そして「大きな栗の木の下で」「秋の歌」を元気良く歌いました。

入所されているご高齢者の皆さんは「可愛いね〜」「子どもちゃんのかわいい声が聞こえてるねー」と、本当にうれしそうなお様子で、利用者の方々もスタッフも笑顔にあふれ、コロナ禍で会えなくてもお互いの存在を大切に思える、良い時間となりました。

歳時記
1

京都府病院薬剤師会より 千春会病院薬剤科に表彰状授与 「病院薬学賞」



「病院内の薬剤業務統括部門として、多職種連携や地域医療連携に関わる病院薬剤師機能を組織的に実践し、画期的な取り組みをした」として、「病院薬学賞」をいただきました。

これは、京都私立病院学会で発表した内容から、他薦を受けたものです。小規模病院でありながら、投薬内容、投薬方法等の業務の効率化に取り組み、ひいては関わる多職種の業務効率化とリスク回避にもつながったことが評価されたものです。大病院では当たり前の機械化ですが、小規模病院の今ある機能のままに、コストをかけずに独自で検討、開発したことは、大変意義のある取り組みとなりました。



表彰状を手に薬剤科スタッフ

歳時記
2

長岡京市市民活動サポートセンター会員向け 千春会病院市民講座

「ガン温熱療法ハイパーサーミアについて ～ガンになっても慌てないために～」

千春会では、これまでも「市民健康講座」を開催してきましたが、コロナ禍で対面が難しいため、今年は長岡京市市民活動サポートセンター会員さん向けに ZOOM 講座として開催。今は、コロナ禍で、外出や対面を控えられる方、仕事などで参加や当日視聴できない方に向けて、会員限定メルマガにて動画の「見逃し配信」を告知しています。

当日視聴できない方もありますが、健康情報は大切です。

これからも、継続して「FMおとくにラジオ放送」や「SNS」等で、地域の皆さまに健康や医療に関する情報を工夫して、お届けしてまいります。



歳時記
3

「乙訓ドリームフェスタ」 開催に協力

IN長岡天満宮
主催：公益財団法人乙訓青年会議所

毎年、乙訓地域の各地で開催される「乙訓ドリームフェスタ」。

今年は、地域の方々に親しまれている「長岡天満宮」にて開催。八条ヶ池や鳥居がライトアップされた夜間イベントの際に、協力事業所として「医療法人社団 千春会」の紹介もありました。親子連れ、老若男女の方々が集まって、久しぶりのイベントを楽しまれました。コロナが続く中、地域の方々の健康を願い、ご協力させていただきました。



ライトアップされた長岡天満宮

編集後記

紅葉に染まる聴竹居（日本近代建築 20 選・重文）。「日本人の身体に適する建築・住宅の理想形は、日本の気候・風土に適したものと、求め続けた「建築家・藤井厚二」こだわりの自邸。2020 年 4 月号にて、青もみじの緑に包まれる聴竹居をお届けしましたが、色づいた秋の紅葉は、人の心をより一層、華やかに彩ります。

自然のままを活かし、地域に溶け込んできたからこそこの「融合の美」。千春会も地域への想いは揺らぐことなく、「医療と介護の融合」にて、しっかりと、皆さまの心に溶け込んで、より一層に貢献してまいります。年々歳々、季節は廻るとも、その想い変わらずに…。(弘)

表紙写真・元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります（インフォームドコンセント）。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります（セカンドオピニオン）。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院
千春会病院
〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615